

令和4年12月6日

県土整備部港湾空港課

第1回八戸港カーボンニュートラルポート形成協議会を開催します

平素より港湾行政に対し、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国では「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の中で、わが国の輸出入貨物の99.6%を扱い、CO2排出量の約6割を占める産業が立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて、カーボンニュートラルポート（以下「CNP」という。）を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していくこととしています。

八戸港においても、CNP形成計画を策定することとし、関係者で構成した協議会を立上げ、以下の通り開催しますので、お知らせします。

なお、協議会は非公開としますが、冒頭挨拶（議事開始前）まで傍聴及び撮影可能です。

記

- 開催日時：令和4年12月13日（火） 午前10時～12時
- 開催場所：八戸商工会議所 3階 ホール
- 次第：1) 開会
2) 協議会の設置について
3) 議事：八戸港CNP形成計画の策定について
4) カーボンニュートラルに関する情報提供
5) 閉会
- 構成員等：別紙のとおり

報道機関用提供資料		
担当課	県土整備部 港湾空港課	
担当者	港湾計画・空港グループ GM 工藤 徳永	
電話番号	直通	017-734-9674
	内線	6754
報道監	県土整備部 次長 永澤 親兼	

八戸港カーボンニュートラルポート形成協議会

構成員

No.	組織名
1	八戸工業高等専門学校 (教授 南 将人)
2	八戸工業大学 (教授 加藤 雅也)
3	青森県トラック協会 (会長在籍：(株)共同物流サービス)
4	青森県石油商業協同組合八戸支部
5	(公財)青森県フェリー埠頭公社 八戸支社
6	ENEOS (株) (ガス事業部)
7	川崎近海汽船 (株) 八戸支社
8	大平洋金属 (株)
9	東京鉄鋼 (株) 八戸工場
10	東北電力 (株) 青森支店
11	(株)八戸インテリジェントプラザ
12	八戸港振興協会 (会長在籍：八戸港湾運送 (株))
13	八戸製錬 (株)
14	八戸セメント (株)
15	三菱製紙 (株) 八戸工場
16	川崎重工業 (株)
17	富士電機 (株)

オブザーバー

No.	組織名
18	経済産業省 東北経済産業局
19	国土交通省 東北運輸局 青森運輸支局
20	国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所
21	青森県 環境生活部 環境政策課
22	青森県 エネルギー総合政策局 エネルギー開発振興課
23	八戸市 商工労働観光部 商工課
24	八戸市 商工労働観光部 産業労政課
25	八戸市 環境部 環境政策課
26	八戸市 建設部 港湾河川課

事務局

No.	組織名
27	青森県 県土整備部 港湾空港課
28	青森県 三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所

カーボンニュートラルポート形成計画について

(「CNP 形成計画」策定マニュアル 2021 年 12 月 国土交通省港湾局 抜粋)

1. カーボンニュートラルポート（以下「CNP」）とは

CNP とは、国際物流の結節点かつ産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを旨とするものをいう。

2. CNP 形成計画とは

港湾におけるカーボンニュートラルを実現するため、各港湾において発生している温室効果ガスの現状及び削減目標、それらを実現するために講じるべき取組、ロードマップ等を取りまとめたものが CNP 形成計画である。

3. CNP 形成に向けた方針

- ①. 水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境等の整備
- ②. 港湾地域の面的・効率的な脱炭素化
 - ②-1 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化（港湾ターミナル内の脱炭素化）
 - ②-2 集積する臨海部産業との連携（港湾ターミナル外の脱炭素化）

4. 検討項目（CNP 形成計画の策定フローより抜粋）

- ①. CNP 形成計画における基本的な事項 ← 今回
- ②. 温室効果ガス排出量の推計
- ③. 温室効果ガス排出量の削減目標・削減計画
- ④. 水素・燃料アンモニア等供給目標及び供給計画
- ⑤. 港湾・産業立地競争力の強化に向けた方策
- ⑥. ロードマップ
- ⑦. 対策の実施・進捗管理・公表



図 1: CNP 形成の形成イメージ